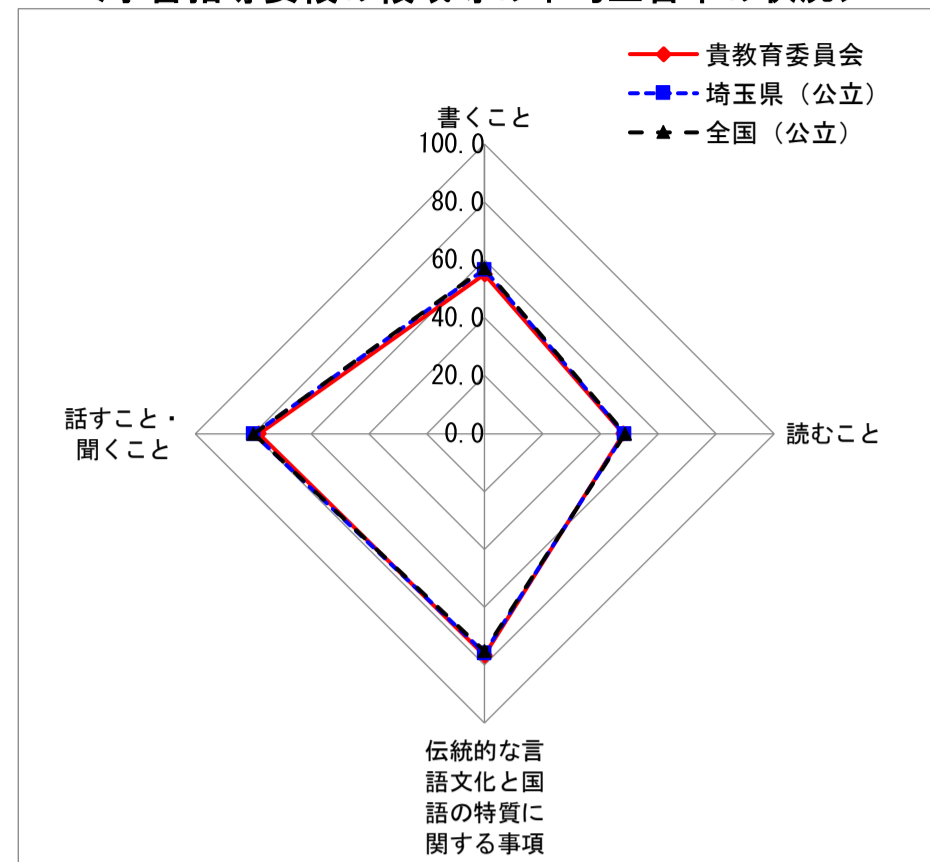


・黄色塗の部分は成果 ・赤色塗の部分は課題

集計結果

対象生徒数		東松山市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	
		633	54,517	903,157	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
全体		14	64	65	64.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	78.0	79.8	79.8
	書くこと	3	55.0	56.7	57.1
	読むこと	4	47.9	48.2	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	76.6	75.8	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	55.5	56.5	56.0
	話す・聞く能力	3	78.0	79.8	79.8
	書く能力	3	55.0	56.7	57.1
	読む能力	4	47.9	48.2	48.5
問題形式	言語についての知識・理解・技能	4	76.6	75.8	75.1
	選択式	6	62.0	63.3	63.9
	短答式	4	75.8	74.9	74.4
	記述式	4	55.5	56.5	56.0

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

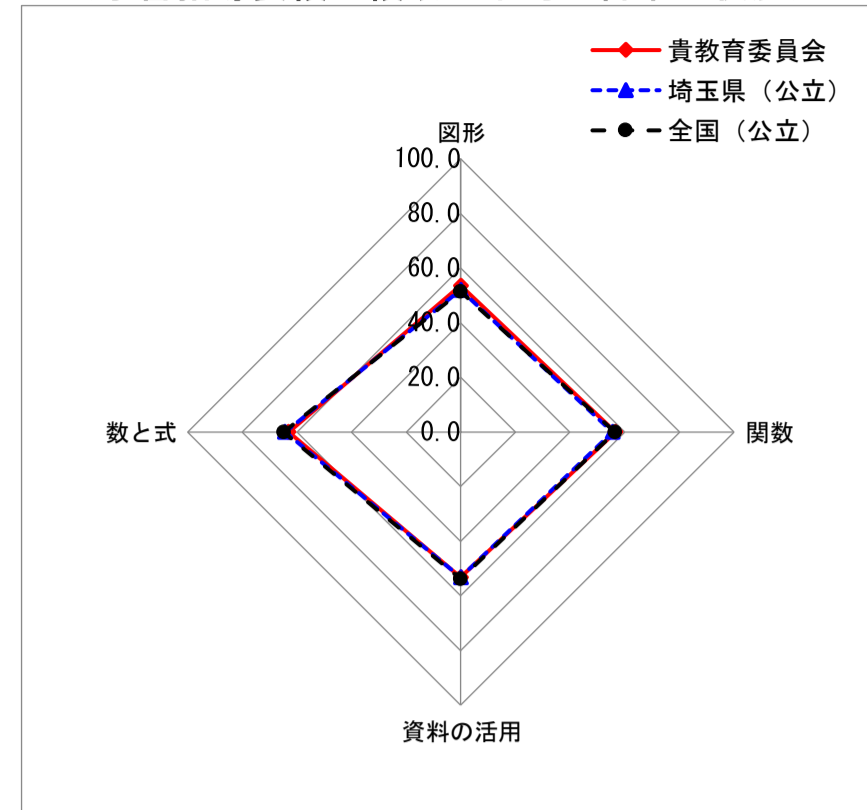
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	1オ											88.3	89.7	89.7	0.2	0.1	0.2
1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1エ											91.8	92.2	92.5	0.0	0.1	0.2
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える	1オ											53.9	57.6	57.1	3.9	3.9	3.4
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	2エ											19.1	22.9	24.8	0.0	0.2	0.3
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える	2オ											74.9	74.1	74.5	10.1	9.2	8.5
3一	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する		1ア										44.1	42.9	43.7	0.0	0.2	0.4
3二	「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する	場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する		1ウ										55.3	57.7	58.7	0.2	0.3	0.4
3三	「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する		2イ										70.0	70.8	71.0	7.0	7.9	7.3
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ		1オ										22.3	21.3	20.5	25.0	24.3	24.1
4一①	漢字を読む (粗ばして)	文脈に即して漢字を正しく読む		2(1)ウ(7)										98.1	97.6	97.5	0.9	1.4	1.5
4一②	漢字を読む (詳細)			2(1)ウ(7)										92.3	90.3	88.8	1.7	2.1	2.3
4二	「随時」の意味として適切なものを選択する	事象や行為などを表す多様な語句について理解する		1(1)イ(6)										73.5	74.4	74.0	0.5	0.9	1.1
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	相手や場に応じて敬語を適切に使う		2(1)イ(7)										42.7	40.8	40.3	1.1	1.7	1.7
4四	事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く		2ウ										70.9	73.0	71.9	9.3	8.8	9.7

・黄色塗の部分は成果 ・赤色塗の部分は課題

集計結果

対象生徒数		東松山市教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	
		633	54,499	903,253	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
			貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
全体		16	57	57	57.2
学習指導要領の領域	数と式	5	63.0	64.3	64.9
	図形	4	53.6	52.0	51.4
	関数	3	56.6	55.5	56.4
	資料の活用	4	53.2	53.2	53.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	7	40.4	40.5	41.1
	数学的な技能	3	77.5	78.1	77.7
問題形式	数量や図形などについての知識・理解	6	66.1	65.2	65.6
	選択式	2	50.9	51.7	52.4
	短答式	9	70.7	70.2	70.5
	記述式	5	34.8	34.7	35.0

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	埼玉県 (公立)	全国 (公立)
1	$(5x + 6y) - (3x - 2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2 ⁽¹⁾ ア						○		○		77.4	78.1	77.1	0.2	0.6	0.8	
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる	1 ⁽³⁾ ウ						○		○		67.5	70.3	71.3	10.0	8.4	7.6	
3	中心角60°の扇形の弧の長さについて正しいものを選ぶ	扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している		1 ⁽²⁾ ウ						○	○		67.9	68.3	68.1	0.0	0.2	0.3	
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している			1 ⁽¹⁾ ア					○	○		50.1	47.0	48.0	8.1	10.0	9.3	
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることのできる			1 ⁽¹⁾ ア				○		○		87.7	85.8	84.5	0.8	1.0	1.0	
6 (1)	四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2 ⁽¹⁾ イ,ウ						○		○		81.7	82.3	83.9	2.7	4.1	3.5	
6 (2)	四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいずれも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2 ⁽¹⁾ イ,ウ						○		○		63.3	61.9	61.8	16.0	16.2	15.4	
6 (3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	2 ⁽¹⁾ イ,ウ						○		○		25.3	29.1	30.3	33.3	31.6	29.9	
7 (1)	与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちきるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる		1 ⁽¹⁾ ウ						○	○		93.7	93.3	93.5	0.8	2.0	2.0	
7 (2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1 ⁽¹⁾ エ,オ				○		○		26.1	26.2	27.7	26.7	27.1	24.7	
8 (1)	気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く	ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる			1 ⁽¹⁾ ア					○	○		82.9	82.6	83.0	3.6	4.2	4.2	
8 (2)	2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している			1 ⁽¹⁾ ア					○	○		33.8	35.1	36.8	0.5	0.8	1.0	
8 (3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1 ⁽¹⁾ イ				○		○		8.5	9.4	11.1	40.4	35.2	32.2	
9 (1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる		2 ⁽²⁾ イ,ウ					○		○		51.0	47.1	44.3	4.1	3.4	3.6	
9 (2)	錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す	錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している		2 ⁽¹⁾ ア						○	○		68.4	64.9	64.3	14.1	14.8	14.2	
9 (3)	∠ARGや∠ASGの大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現することができる		2 ⁽¹⁾ ア					○		○		27.0	27.7	28.8	32.5	31.3	28.7	